

禪学関係雑誌論文目録 (2004年)

著者	書籍名	出版社	巻(号)	発行月
〔思想〕				
荒井良雄	無の研究—ブライス禪の世界	駒沢大学禪研究所年報	16	12
大津留直	言葉への道—芸術の現象学に向けて—	思想	968	12
小川隆	庭前の柏樹子—いま禪の語録をどう読むか—	思想	960	4
金山秋男	自他不二—生死即涅槃の構造	明治大学教養論集	386	9
古賀英彦	中論に於ける自性の概念	花園大学文学部研究紀要	36	3
木村清孝	仏教的思惟の可能性—華嚴と禪を中心に—	比較思想研究	30	3
木村俊彦	ルドルフ・オットーにおける空思想理解と禪思想理解の問題点	宗教研究	77-4	3
末木文美士	禪の言語は思想を表現しうるか—公案禪の展開—	思想	960	4
菅原研州	歴史と宗義の一考察(3)	曹洞宗研究員研究紀要	34	3
関守研吾	禪における因果の研究(2)仏陀の因果観	禪學研究	82	1
高澤勇	社会化と自己実現—マズローの自己実現説と禪における自己実現との比較研究を中心に	長野経済短期大学論叢	41	7
竹村祖珉	仏教の死生観	大乘禪	954	8・9
橋 裕	「自由」について(上)	禪味	468	5
橋 裕	「自由」について(下)	禪味	469	6
西平直	世阿弥の還相—還相における〈他者〉の問題—	思想	960	4
NOBUHARA, Osamu	禪とことばの間: 乖離と接近 Quest For an Interface between Zen(ch'an) and Language	総合文化研究所紀要	21	3
松原洋	東洋的思惟について(3) 靈性的叡智と日本文化	日本学研究	7	6
務台清	務台理作の日記「北白川日記」抄(2)—(5)	季刊 三郷文化	87,88 2,5, 89,90 8,11	
安永祖堂	禪語としての「自由」をめぐって	臨済宗妙心寺派 教学研究紀要	2	5

山本輝雄	信仰に関わる場所についての研究序説	福岡国際大学紀要	11	2
五十嵐良探	道元禪師とマイスター・エックハルト—石女と処女および暗夜と暗闇	宗学研究	46	3
金子宗元	業不滅説と道元禪師—仏教思想史に於ける所作業不亡偈の解釈を巡って	宗学研究紀要	17	3
菅原研州	修行と他者(2)	宗学研究	46	3
Steven Heine	Kōans in the Dōgen Tradition: How and Why Dōgen Does What He Does with Kōans	PHILOSOPHY EAST & WEST	54-1	1
側瀬登	道元と波多野精一における時間構造—非連続の連続—	比較思想研究	30	3
竹林史博	正信論争考—「宇宙の大霊」をめぐる論戦について	宗学研究	46	3
田上太秀	『正法眼蔵』に見る『涅槃経』の思想	駒沢大学仏教学部研究紀要	62	3
Taigen Dan LEIGHTON	Dogen's Cosmology of Space and the Practice of Self-Fulfillment	Pacific World	6	
何燕生	「即」—空海と道元をつなぐもの—	宗教研究	77-4	3
橋本弘道	秋山範二の道元理解について	宗学研究	46	3
松田禎二	日本の思想と文化(3)—道元と「正法眼蔵随聞記」	浜松大学研究論集	17-2	12
Black Anthony R	「宗教的時間」の意義に対する諸問題—宗教的時間・時間的宗教	宗学研究	46	3
朝倉祐一郎	『善の研究』における芸術観	宗教研究	77-4	3
行安茂	西田幾多郎における人格と善—T・H・グリーンの自己実現との比較において—	比較思想研究	30 別冊	3
小野真	西谷宗教哲学の中期から後期への深化について	宗教研究	77-4	3
加島史健	西田哲学における宗教的世界観の前提	宗教研究	77-4	3
氣多雅子	現代社会と宗教哲学	宗教研究	77-4	3
甲田烈	論理と生命—西田哲学と西谷哲学の場合—	東洋学研究	41	2
甲田烈	〈常に・すでに〉と〈逆対応〉—宗教体験のモデル化をめぐる—	比較思想研究	30	3
小坂国継	「永遠の今」について	宗教研究	77-4	3
Heisig, James W.	Nishida's medieval bent	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS STUDIES OF	31-1	

Kopf, Gereon	Between identity and difference: Three ways of reading Nishida's non-dualism	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS STUDIES	31-1	
G. シュテンガー	現象学への新たな転換?	思想	968	12
橋 裕	後期西田の自然哲学—二十世紀物理学と後期西田の場所的論理—	比較思想研究	30	3
Nicholaos John Jones	The Logic of Soku in the Kyoto School	PHILOSOPHY EAST & WEST	54-3	7
新田 義弘	知の自証性と世界の開現性—西田と井筒—	思想	968	12
半田 栄一	宗教と科学の進化・統合—東洋の宗教とユング心理学の持つ意味—	比較思想研究	30	3
森 哲郎	禅と京都学派の哲学(その2)—上田閑照の西田解釈について	京都産業大学日本文化研究所紀要	9	3
水野 友晴	西田哲学と体用論理	比較思想研究	成田山臨時大会号	11
Rein Raud	'Place' and 'Being-time': Spatiotemporal Concepts in the Thought of Nishida Kitarō and Dogen Kigen	PHILOSOPHY EAST & WEST	54-1	1
今村 純子	「詩」を持つこと—シモーヌ・ヴェイユと鈴木大拙—	比較思想研究	30	3
鎌田 東二	「日本的靈性」の批判的考察	宗教研究	77-4	3
竹村 牧男	大拙の道元観	松ヶ岡文庫研究年報	18	3
和田 真二	鈴木大拙の“日本的靈性なるもの”について	宗教研究	77-4	3
竹村 祖珉	秋月禅学と私	大乘禅	948	1
平田 精耕 上田 閑照 カーシュナー・トーマス	対談 禅と哲学の対話	禅文化	192	4
美濃 部 仁	【非神秘主義—エックハルトと禅】—要約と質問(シンポジウム: 上田閑照先生の思想 京都宗教哲学会第四一回定例研究発表会)	宗教哲学研究	21	
B. フォール	禅オリエンタリズムの興起(上)—鈴木大拙と西田幾多郎—	思想	960	4
B. フォール	禅オリエンタリズムの興起(下)—鈴木大拙と西田幾多郎—	思想	961	5
P.スワンソン	禅批判の諸相	思想	960	4
土田 健次郎	朱子学と禅	思想	960	4
野口 善敬	禅と儒教・道教の思想	大法輪	71-6	6

横手 裕	禅と道教	思想	960	4
〔中国〕				
石井 公成	中国禅の形成	思想	960	4
岩城 英規	『首楞嚴経』注釈書考	印度學佛教學研究	52-2	3
岩城 英規	『首楞嚴経』の解釈—『円覚経』注釈との比較に焦点を当てて	印度學佛教學研究	53-1	12
采 翠 晃	僧叡「関中出禅経序」中の『首楞嚴経』について	印度學佛教學研究	52-2	3
采 翠 晃	竺法護訳『首楞嚴経』と『勇伏定教』	印度學佛教學研究	53-1	12
金 圓 忠	僧肇と「真一」—『寶藏論』を見透しての試論	駒沢大学禅研究所 年報	16	12
伊 吹 敦	『法句経』の思想と歴史的意義	東洋学論叢	29	3
武藤 明範	『梁高僧伝』にみられる禅観実修の動向	曹洞宗研究員研究 紀要	34	3
武藤 明範	『梁高僧伝』訳経篇・義解篇にみられる禅観実修の動向	宗学研究	46	3
沖本 克己	初期禅宗史をめぐる二三の問題	花園大学文学部研究 紀要	36	3
伊 吹 敦	『統高僧傳』達磨=慧可傳の形成過程について	印度學佛教學研究	53-1	12
篠塚 純海	『菩提達摩四行論』の文献的研究—雜録第三を中心として	禪學研究	82	1
椎名 宏雄	カラホト出土の達磨大師『夾頌心経』	宗学研究	46	3
吉水 岳彦	禅宗四祖道信の機根観—善導との比較を通じて	印度學佛教學研究	53-1	12
中嶋 隆藏	明刻『六祖壇経』二種について—台湾国家図書館所蔵明永楽間刊本と房山石経本	禪學研究	82	1
永井 政之	中国民衆の「金剛経信仰」研究試論—慧義寺清虚の場合—	宗教学論集	23	3
程 正	『七祖法寶記』に関する一考察—特にその成立について	駒沢大学大学院仏 教学研究會年報	37	5
程 正	校注『般若心経慧忠注』	駒沢大学禅研究所 年報	16	12
衣川 賢次	唐玄宗<御注金剛般若経>的復元與研究	花園大学文学部研究 紀要	36	3
瀧 尚純	神会の無念について	印度學佛教學研究	52-2	3
瀧 尚純	荷澤神会と大珠慧海	印度學佛教學研究	53-1	12
伊 吹 敦	『念佛三昧寶王論』に見る禅の動向	東洋学研究	41	2

長 倉 信 祐	湛然の禅宗批判の一断面—『摩訶止観輔行伝弘決』を中心に—	天台学报	46	11
齋 藤 智 寛	『宝林伝』の宗教世界—「無修」と「因果」	集刊東洋学	92	
関 守 研 吾	徳山宣鑑の禅思想—徳山の棒	印度哲学仏教学	19	10
石 井 修 道	『禅源諸詮集都序』の仏伝・仏身観	印度學佛教學研究	52-2	3
兪 炳 根	洞山五位説と異類中行の問題	印度學佛教學研究	52-2	3
福 井 敏	五代十國における詩僧の活動	文芸論叢(大谷大学)	62	3
永 井 政 之	薦福承古考	印度學佛教學研究	53-1	12
椎 名 宏 雄	黒水城文献『慈覚禅師勸化集』の出現	駒沢大学仏教学部研究紀要	62	3
椎 名 宏 雄	『禅苑清規』成立の背景	印度學佛教學研究	53-1	12
小 早 川 浩 大	『林間録』に関する一考察—その内容と問題点について	駒沢大学大学院仏教学研究学会年報	37	5
廣 田 宗 玄	大慧宗杲の『碧巖録』焼却の問題	禪學研究	82	1
廣 田 宗 玄	大慧宗杲による「壁観」再解釈	臨済宗妙心寺派教学研究紀要	2	5
廣 田 宗 玄	大慧宗杲の邪禅批判の諸相—「弁邪正説」の検討を通して	禅文化研究所紀要	27	12
川 島 常 明・ 衣 川 賢 次・ 常 盤 義 伸 他 訳	『正法眼蔵』卷三下末示衆訳注	禅文化研究所紀要	27	12
丸 山 劫 外	『宏智頌古』第五十則「雪峰什麼」から雪峰語録を探る	宗学研究	46	3
丸 山 劫 外	『宏智頌古』のテキスト及び注釈書—『従容録』の位置づけをふまえて	駒沢大学大学院仏教学研究学会年報	37	5
丸 山 劫 外	「百丈野狐」話の一考察—『宏智頌古』第八則と『正法眼蔵』「深信因果」巻を中心として	駒沢大学仏教学部論集	35	10
佐 藤 秀 孝	直翁可挙と南宋末元初の曹洞宗—宏智派の日本への伝来を踏まえて	宗学研究	46	3
佐 藤 秀 孝	明州天寧寺の直翁可挙について—南宋末元初における曹洞宗宏智派の動向	駒沢大学仏教学部研究紀要	62	3
佐 藤 秀 孝	曹洞宗宏智派の明極慧祚について—天童如浄との交友と接化の相違を踏まえて—	宗教学論集	23	3
菅 原 昭 英	南宋禅林における夢語り—無準師範の場合(上)	駒沢女子大学研究紀要	11	12
林 鳴 宇	宋代天台における禅宗批判の諸相—『釈門正統』・『仏祖統紀』を中心に	禅文化研究所紀要	27	12
鄭 夙 雯	十方住持制の形成過程	印度學佛教學研究	53-1	12

70 禅学関係雑誌論文目録(2004年)

須山長治	汝達の『仏祖宗派総図』について	宗学研究	46	3
須山長治	『佛祖宗派総図』の分析—「総編嗣法人数目録」の内容	駒沢短期大学仏教論集	10	10
野口善敬	元代における五山十刹の位次	禅文化研究所紀要	27	12
野口善敬	研究会報告—共通課題 元・明代の禅と日本 径山の憂鬱—元叟行端とその禅	駒沢大学禅研究所年報	16	12
本多道隆	紫柏達観研究序説	東洋古典学研究	17	5
本多道隆	不離文字の禅—紫柏真可が志向するもの	東洋古典学研究	18	10
荒木見悟	仏教居士としての陸光祖	名古屋大学中国哲学論集	3	
木村得玄	五灯全書にみる費隱の法嗣	黄檗文華	123	5
野川博之	為霖道霈禅師「道元伝」の特色	黄檗文華	123	5
長谷部幽蹊	『續燈正統』と聚雲法門(Ⅱ)	禅研究所紀要	32	3
洪櫻娟	中国仏教における「禅淨双修」について	黄檗文華	123	5
鈴木哲雄	禅宗史研究における中国地方志の利用法	印度学佛教学研究	53-1	12
佐野公治	「喫茶去」を読む—禪のことば	中国古典研究	49	12
小川隆 訳	ブライス博士『MUMONKAN』抄訳	駒沢大学禅研究所年報	16	12
小川隆	禅の書物 禅の言葉 『碧巖録』雑考(7)—(9)汝は是れ慧超(2)—(4)	禅文化	191~1,4,193	7
小川隆	禅の書物 禅の言葉 『碧巖録』雑考(10)趙州方法帰一(1)	禅文化	194	10
伊吹敦	達摩から東山法門へ—要説・中国禅思想史(1)	禅文化	192	4
伊吹敦	北宗禅の成立—要説・中国禅思想史(2)	禅文化	193	7
伊吹敦	荷沢神会の登場—要説・中国禅思想史(3)	禅文化	194	10
山田無文	碧巖録提唱(2)第三則 馬大師不安	禅文化	191	1
山田無文	碧巖録提唱(3)第五則 雪峰尽大地	禅文化	192	4
山田無文	碧巖録提唱(4)第六則 雲門日々好日	禅文化	193	7
山田無文	碧巖録提唱(5)第十則 睦州掠虚頭漢	禅文化	194	10
毛利古剣	『虚堂録』提唱(七十三)—(七十五)	大乘禅	950~4,5,952	6
八峰華法	わかりやすい中国高僧伝(7)—弘忍	大乘禅	950	4

八峰華法	わかりやすい中国高僧伝(8) —(10)—慧能(1)—(3)	大乘禅	952~6,7, 954 8-9
八峰華法	わかりやすい中国高僧伝(11) —青原行思	大乘禅	956 10
八峰華法	わかりやすい中国高僧伝(12) —石頭希遷	大乘禅	957 11
八峰華法	わかりやすい中国高僧伝(13) —南岳懷讓	大乘禅	958 12
沖本克己	禅の教団—余論・敦煌石窟(その4)	禅文化	191 1
沖本克己	禅の教団—余論・敦煌石窟(その5)	禅文化	193 7
無門龍善	臨濟録講(1)—(10)	禅味	465~ 1~ 474 12

〔韓国〕

李法山	白雲の無心禪について	印度學佛教學研究	52-2 3
韓普光(泰植)	高麗太古普愚禪師の念仏禪について	印度學佛教學研究	53-1 12
C. ミュラー	高麗—朝鮮における仏教—儒仏間の対立の眼目—『仏氏雜論』と『顯正論』の立場に関する比較—	思想	960 4
姜文善(慧諤)	現代韓国禅院清規の成立と展開	印度學佛教學研究	53-1 12
藤田励夫	永源寺所蔵高麗時代白紙金字華嚴經について	野洲町立歴史民俗資料館研究紀要	10 3

〔日本〕

葛西好雄	『受禅戒作法』の資料位置—中世禅家における菩薩戒儀軌の源流—	臨濟宗妙心寺派教学研究紀要	2 5
常盤義伸	栄西『興禅護国論』の論旨要約と評	禅文化研究所紀要	27 12
杉慎吾	「正法眼蔵隋聞記」に見る栄西像	高梁川	62 12
高柳さつき	伝栄西著『真禅融心義』の真偽問題とその思想	禅文化研究所紀要	27 12
藤原東演	栄西—臨濟禅を伝える	大法輪	71-4 4
湯浅英利	栄西禅師における喫茶とその意味	教化研修	48 3
高柳さつき	日本中世禅の見直し—聖一派を中心に—	思想	960 4
徳永誓子	水無瀬御影堂と臨濟宗法燈派	日本宗教文化史研究	8-1 5

アンナ・ザレフスカ	無住の著作における「多聞」と「智恵」	国語国文	73-3	3
直井 誠	虎関師錬の中国書法受容とその展開	中京国文学	23	3
加藤 一寧	智者の遠慮に任せて一天龍寺船派遣決定についての一試論	禅文化研究所紀要	27	12
野村 俊一	五山叢林における夢窓疎石の修造知識	建築史学	43	9
柴田 雄昭	愚中周及と「仏通寺読み」の紀元について	印度學佛教學研究	52-2	3
村上 宗博	つれづれの風光—寂室禅師の偈頌とともに(3)	禅文化	191	1
吉井 和夫	蘇東坡の「表忠觀碑」に関する一資料—大岳周崇「翰苑遺芳」の記述をめぐって	文芸論叢(大谷大学)	62	3
飯塚 大展	禅籍抄物研究(2)『大圓禪師垂示夜話』を中心として	駒沢大学仏教学部研究紀要	62	3
横山 住雄	快川国師の生涯(2)修行から独立へ	禅文化	191	1
横山 住雄	快川国師の生涯(3)快川の一人立ち	禅文化	192	4
横山 住雄	快川国師の生涯(4)南泉寺から恵林寺へ	禅文化	193	7
横山 住雄	快川国師の生涯(5)	禅文化	194	10
樋渡 清廉	大龍寺の開山・文之和尚 日本儒教学史上で藤原惺窩、林羅山を凌ぐ学僧	知覧文化	41	3
木村 俊彦	中山寺蔵草稿に基づく大円宝鑑国師愚堂和尚語録(上)	臨濟宗妙心寺派 教学研究紀要	2	5
鈴木 省訓	訓注『古月禅師四會録』(10)	鎌倉	99	7
能仁 晃道	禅者の風景—古月禅材(続)	禅文化	191	1
沖本 克己	泥と蓮 白隠禅師を読む(1)なぜ白隠なのか	大法輪	71-5	5
沖本 克己	泥と蓮 白隠禅師を読む(2)滔々たる流れ	大法輪	71-6	6
沖本 克己	泥と蓮 白隠禅師を読む(3)傑物・白隠の登場	大法輪	71-7	7
沖本 克己	泥と蓮 白隠禅師を読む(4)修行と大悟	大法輪	71-8	8
沖本 克己	泥と蓮 白隠禅師を読む(5)坐禅和讃(1)	大法輪	71-9	9
沖本 克己	泥と蓮 白隠禅師を読む(6)坐禅和讃(2)	大法輪	71-10	10
沖本 克己	泥と蓮 白隠禅師を読む(7)坐禅和讃(3)	大法輪	71-11	11
沖本 克己	泥と蓮 白隠禅師を読む(8)毒語心経(1)	大法輪	71-12	12
河合 正朝	白隠と禅画:室町時代の禅僧が描く水墨画との比較において(芸術のロケーション)	Booklet	12	1

藤原 東 演	南無地獄大菩薩 —白隠の地獄観—	大法輪	71-8	8
芳澤 勝 弘	碁をうつ白隠像	禅文化	191	1
芳澤 勝 弘	見上げてみれば鷲頭山—白隠の 上求菩提下化衆生	禅文化	192	4
芳澤 勝 弘	白隠禅画とメビウスの環—表が そのまま裏になる世界	禅文化	193	7
芳澤 勝 弘	白隠のミンサザイ図—せっかい・ すり鉢・播粉木(すりこぎ)	禅文化	194	10
Jorgensen John	Zen Scholarship: Mujaku Dochu and His Contemporaries	禅文化研究所紀要	27	12
今 泉 令 子	禅者の風景—物先海旭	禅文化	192	4
川 村 一 彦	京都五山禅の盛衰記	家系研究	38	10
王 廸	中世日本における【列子】及び 【列子處齋口義】の受容考	東洋学研究	41	2
海 村 惟 一	「五山文学」研究の諸問題	福岡国際大学紀要	11	2
斎 藤 夏 来	戦国期知多半島の五山文学受容 —『鎌氷集』の検討を中心に	中世史研究	29	5
斎 藤 夏 来	叢林と夷中	歴史学研究	791	8
山 内 哲 生	規式に見える中世後期の禅宗寺院 の動向—鎌倉円覚寺を事例に	地方史研究	54-3	6
山 内 哲 生	【円覚寺文書】に見る中世の円 覚寺経済	鎌倉	98	6
尾 崎 正 善	月中・年中行事清規三本の紹介 —【南禅諸回向】・【建長寺年中 調経並前住記】・【瑞鹿山圓覚興 聖禅寺月中行事・年中行事】	鶴見大学仏教文化研 究所紀要	9	4
角 田 朋 彦	寺院文書群の編成方法—東福寺 文書の整理を通して—	千葉県の文書館	9	3
三 浦 浩 樹	建長寺近世史史料(10)	鎌倉	98	6
三 浦 美 恵 子	蝦夷国泰寺史料の諸相(7)	鎌倉	98	6
三 浦 満 世	建長開山忌出頭日記	鎌倉	98	6
鈴 木 佐	旧円覚寺末寺考(2)—福島県 いわき市—	鎌倉	98	6
本 郷 孝 衣	円覚寺洪鐘祭禮記	鎌倉	99	7
青 山 俊 董	道元禅師に学ぶ(17)—(28)	大法輪	71-1~ 71-12	1~ 12
秋 央 文	学道における道元禅師の「貧」 について(4)【正法眼蔵】各巻 における引用から	宗学研究	46	3
秋 央 文	学道に於ける道元禅師の「貧」 について(5)【正法眼蔵】・ 【永平広録】における引用から	宗学研究紀要	17	3

池上光洋	仮字『正法眼蔵』の語彙に関する一考察—特に「和語仮名書・漢語漢字書原則」を中心として	宗学研究	46	3
池上光洋	『重雲堂式』研究ノート	宗学研究紀要	17	3
石井修道	『仏道』『仏経』考(上)	松ヶ岡文庫研究年報	18	3
小川隆・池上光洋・林鳴宇他	金沢文庫本『正法眼蔵』の訳注研究(4)	駒沢大学禅研究所年報	16	12
太田賢孝	『弁道法』の行李に関する一考察—『弁道法』による一泊参禅会を通して	駒沢大学大学院仏教学研究学会年報	37	5
角田泰隆	道元禅師の修道論—特に『正法眼蔵随聞記』に見られる学道の用心について	駒沢短期大学仏教論集	10	10
金子宗元	道元禅師における業不亡の道理について—「所作業不亡偈」の引用意図と撥無因果	宗学研究	46	3
神谷隆	『弁道話』の解釈(其の2)	宗学研究	46	3
河村康仁	『正法眼蔵第四卷菩提心』巻に観る「慮知心」の宗義的解釈について	駒沢大学大学院仏教学研究学会年報	37	5
桐野好覚	道元禅師と『日用清規』	宗学研究	46	3
桐野好覚	慈航了朴の逸文—『永平広録』と『先徳語録』の記載を端緒として	宗学研究紀要	17	3
熊谷忠興	道元禅師越前入りの一考察(その2)	宗学研究	46	3
粟谷良道	『正法眼蔵』にみる叢林規範としての洗面	宗学研究	46	3
佐々木隆	山水経における対句構造と解釈—正法眼蔵の新しい解釈の方法	宗学研究	46	3
佐藤達全	道元—仏としての自分に気づく坐禅	大法輪	71-4	4
下室覚道	「現成公案」の考察(2)水月の譬喩について	宗学研究	46	3
菅原研州	面授の一考察	駒沢大学仏教学部論集	35	10
杉尾玄有	如浄譚責の卷々から何を学ぶか—十方法界の仏法=『正法眼蔵』	宗学研究	46	3
諏訪安弘	正法眼蔵随聞記における説話的発想	東洋大学大学院紀要(文学研究科)	40	3
武石彰夫	仮名法語の構造	仏教文化研究所研究年報	12	12
嗣永典子	『傘松道詠』を味わう(9)—(14)	大乘禅	950~954,956	4,5,6,7,8,9,10
辻口雄一郎	道元と無情仏性論(2)	宗学研究	46	3

提 邦 彦	道元伝のなかの稻荷信仰—洛北・道正庵の靈葉伝承—	朱	47	3
松 田 禎 二	日本の思想と文化(3)—道元と『正法眼蔵随聞記』	浜松大学研究論集	17-2	12
石 井 清 純	『義雲語録』における道元禅師の著作の依用傾向について	印度學佛教學研究	53-1	12
東 隆 眞	『坐禅用心記』に参ずる(1)—(7)	大法輪	71-6~ 71-12	6~ 12
河 合 泰 弘	『洞谷記』の編集動機について(二)—流布本『洞谷記』の編集意図をめぐって	禅研究所紀要	32	3
下 條 正	『登山清規』に引用される『首楞嚴經』の研究(其之卷)徳巖養存『首楞嚴經略疏折衷』を中心として	宗学研究	46	3
竹 内 弘 道	禅林寺本『登山清規』の考察—発見の意義とその後の研究動向について	宗学研究	46	3
宮 地 清 彦	登山禅師の懺悔滅罪觀(2)他宗の「滅罪」思想との比較論	宗学研究	46	3
宮 地 清 彦	登山禅師の「懺悔滅罪」觀について	宗教研究	77-4	3
宮 地 清 彦	登山禅師の密教性について再考する	印度學佛教學研究	53-1	12
伊 藤 良 久	總持寺九世実峰良秀禅師の行状(1)出自から總持寺晋住まで	宗学研究	46	3
伊 藤 良 久	總持寺九世実峰良秀禅師の行状(2)出自・出家・参学について	宗学研究紀要	17	3
西 尾 勝 彦	泉福寺本『正法眼蔵開書抄』の諸問題:「坐禅儀聞書抄」を中心に	印度學佛教學研究	52-2	3
西 尾 勝 彦	『正法眼蔵開書抄』諸写本の考察	宗学研究	46	3
Mikhailova Svetlana	現代語訳『三大尊行状記』「道元伝」(抄訳)—ロシア語訳にあたって	宗学研究	46	3
池 田 魯 参	天台止觀から道元禅成立までの瞑想の意義	印度學佛教學研究	53-1	12
花 野 充 道	道元と天台本覚思想	印度學佛教學研究	53-1	12
石 島 尚 雄	『正法眼蔵開書抄』に関する一考察—特に「一仏成道、觀見法界、草木国土、悉皆成仏」をめぐって	宗学研究	46	3
石 島 尚 雄	『中陰經』をめぐる一考察—特に洞門宗学に關連して	宗学研究紀要	17	3
石 島 尚 雄	『正法眼蔵開書抄』と天台教学—特に「草木国土悉皆成仏」をめぐって	印度學佛教學研究	53-1	12

廣瀬良弘	中世における出世道場としての永平寺・総持寺—天文の論旨の問題を中心として—	宗教学論集	23	3
駒ヶ嶺法子	徳翁良高編『日域洞上宗派図』について	宗学研究	46	3
駒ヶ嶺法子	竹達広嫩撰『達磨大師宗派次第』について	印度學佛教學研究	53-1	12
松田陽志	天桂伝尊の五位説について—『報恩篇』に対する鳳潭の批判をめぐって	宗学研究	46	3
宮地清彦	天桂伝尊『報恩編』の研究—『信心銘』及びその類書との関連について	印度學佛教學研究	52-2	3
David.E. Riggs	The Life of Menzan Zuiho, Founder of Dogen Zen	NICHIBUNKAN JAPAN REVIEW	16	
晴山俊英; 岩永正晴; 塚田博他	『日本洞上聯燈録』の研究(2)巻第七所収諸伝訓注(その1)	駒沢大学禅研究所年報	16	12
管原論貴	愛知学院大学図書館蔵『永平広録點茶湯』の翻刻(一)	愛知学院大学短期大学部研究紀要	12	3
佐々木章格	新潟県雲洞庵所蔵『指月印禪師語録』について	駒沢大学文化	22	3
佐久間賢祐	『教授戒文鈔源支』にみる万勿戒学の特長について	印度學佛教學研究	53-1	12
岩永正晴	斧山玄掘の著作について(5)『義雲和尚語録聞書』と『義雲和尚語録聞解』の対照(4)	駒沢大学仏教学部研究紀要	62	3
岩永正晴	斧山玄掘の参学について(6)『雪竇頌古称提銜』と『参同契吹唱聞解』を手掛かりとして	宗学研究	46	3
納富伸郎	江戸末期における總持寺の実情(一)—文化三年の火災と再建を中心として—	鶴見大学仏教文化研究所紀要	9	4
源川彦峰	良寛における禅の藝術	二松學舎大学人文論叢	72	3
鈴木健一	良寛と日本海「たらたちねの」の歌をめぐって	国文学解釈と鑑賞	69-11	11
井上慶隆	良寛と鈴木文吉と大田錦城—良寛伝の史的研究(3)	越佐研究	61	5
金子善八郎	相馬御風『大愚良寛』考(4)一書について	新潟県文人研究	7	11
熊本英人	近代曹洞禅僧の僧堂観	印度學佛教學研究	52-2	3
山内舜雄	忽滑谷禅学とその展開—一道元禅の近代化過程(2)	宗学研究	46	3
佐々木徹	戦国期仏教教団と奥州	大石直正・小林清治編『陸奥国の戦国社会』高志書院		8
佐々木徹	平泉諸寺社・伊沢正法寺と中世社会	民衆史研究	68	11
晴山俊英	『梵網経略抄』の考察(16)	駒沢大学仏教学部論集	35	10
尾崎正善	三仏忌について—成道会の儀礼について(1)	宗学研究	46	3

尾崎正善	朝課諷経と回向文の変遷	宗教学論集	23	3
佐久間賢祐	無相戒体考	印度哲学仏教学	19	10
佐藤俊晃	坐禅と葬送(2)室内伝法式と下火関連切紙	宗学研究	46	3
晴山俊英	曹洞宗における授戒の三師について	宗学研究	46	3
平子泰弘	諸清規に見られる臨終看護の記載について	宗学研究紀要	17	3
辻井清吾	鈴木正三に見る恩義の思想と職業倫理	仏教経済研究	33	5
藤谷厚生	日本近世の仏教倫理と家族像について	日本佛教学会年報	69	5
三浦雅彦	鈴木正三の門流と近世洞済をめぐる一考察	日本思想史学	36	
三浦雅彦	鈴木正三の門流と面山瑞方の関係—『桃水和尚伝賛』を中心にして—	比較思想研究	30	3 別冊
三浦雅彦	鈴木正三の武士観と仏法治国論—ライフヒストリーの再構成—	比較思想研究	30	3 別冊
楠原直樹	普照國師廣録卷第十嗣法門人如一編(四—五頁)	黄檗文華	123	5
釋聖巖	「萬別千差一掃空」抜粹	黄檗文華	123	5
林觀潮	隱元隆琦の詩偈とその主題	文芸論叢	62	3
林觀潮	隱元隆琦と日本皇室—『桃葉編』を巡って	黄檗文華	123	5
三好昭一郎	鐵崖道空による竹林禪院開基前史—阿波黄檗宗展開への道程—	黄檗文華	123	5
石渡吉彦	天瑞道恩と王政復古祈願石	黄檗文華	123	5
高井恭子	悦山道宗撰『恭祝黄檗開山祖翁隱元老和尚八十壽序』について	黄檗文華	123	5
内山純子	近世中期の仏教界革新・佛教学興隆に貢献した黄檗僧了翁禪師—東叡山叡学院の創設と台密禅二十一ヶ寺の一切経施経を中心に	黄檗文華	123	5
松永知海	天真了翁禪師研究の課題	黄檗文華	123	5
渡辺麻里子	高野山真別処蔵了翁寄進鉄眼版一切経について	黄檗文華	123	5
大槻幹朗	高泉禪師語録の改題—詩文編	黄檗文華	123	5
谷村純子	黄檗宗が大通上人(融通念仏宗)に与えた影響	黄檗文華	123	5
野村昭子	加賀藩・心空庵月峰道喜をめぐる人々	黄檗文華	123	5

椎名勤治	伊吹山松尾寺と大原幽学—幕末における生存権保障制度の萌芽に関わる松尾寺堤宗和尚の果たした動機づけの意義—	黄檗文華	123	5
岩田 嘴	進藤端堂略伝	黄檗文華	123	5
江口正尊	黄檗信仰史(54)—(59)	史迹と美術	74-1,74-2,1,2,74-5,74-7,5,7,74-8,74-10	8,10
木村得玄	初期黄檗派の僧(1)—(2)	大乘禅	957,958	11,12
赤松達明	萬福寺の歴史と文化財について	文化財レポート	14	4
五十嵐公一	狩野永納と黄檗僧	黄檗文華	123	5
河原英俊	武蔵国野中山圓成院の歴史と文化財	黄檗文華	123	5
斉藤善夫	隠元・黄檗に係る梵鐘の形状と文様について	黄檗文華	123	5
新名規明	黄檗文化と唐通事	長崎文化	62	11
藤井直正	讃岐・塩飽牛島・極楽寺所蔵の黄檗版大藏経	黄檗文華	123	5
虎井吉雄	黄檗宗と曹洞宗加賀大乘寺	黄檗文華	123	5
山本輝雄	黄檗派禅の信仰の修行空間としての確立時期に関する建築史の一研究	黄檗文華	123	5
山本輝雄	信仰に関わる場所としての黄檗派寺院の伽藍構成に関する歴史的展開過程について	福岡国際大学紀要	12	7
ジェームス・バスキン	黄檗に関する欧文の研究文献について	黄檗文華	123	5
飯塚大展	禅籍抄物研究(3)叡山文庫所蔵史料について(上)	駒沢大学禅研究所年報	16	12
柳田征司	<翻・複>高山寺蔵『無門関鈔』	高山寺典籍文書総合調査団研究報告集		3
千葉正	中世真言密教の禅宗観再考—『説法明眼論』を中心として	宗学研究	46	3
千葉正	『説法明眼論』の引用典籍の特徴	印度学佛教学研究	52-2	3
川口高風	誓海義本と明谷義光の伝記	禅研究所紀要	32	3
田邊笑鬼	『葛藤集』備忘帳(1)—(9)	大乘禅	948,950,951,952,953,954,956,957,958	1,4,5,6,7,8,9,10,11,12
竹貫元勝	鎌倉期における禅の展開	文字		2 1
原田正俊	禅と天神信仰	悠久	98	7

真鍋俊照	頂相像の展開と瞑想	印度學佛教學研究	53-1	12
細川武稔	禅宗の祈禱と室町幕府：三つの祈禱システム	史學雜誌	113-12	12
高橋秀榮	入宋僧・真観房思順の面影	松ヶ岡文庫研究年報	18	3
堀本一繁	港の文化誌博多(4)博多禅	本郷	49	1
堀江和義	東隆寺と厚東氏	足利文林	61	10
太田亨	日本中世禅林における陶淵明受容—初期の場合(六朝詩の語彙および表現技巧の研究)	中国古典文学研究	2	12
太田亨	日本禅林における杜詩受容について:中期禅林における杜甫画図賛詩に着目して	中国中世文学研究	45・46	10
太田亨	日本禅林における杜詩解釈:杜甫「巴上人牙齋」詩について	広島商船高等専門学校紀要	26	3
西尾賢隆	禅林四六文小考	文芸論叢(大谷大学)	62	3
海老澤早苗	中世における女の信心と禅宗—加賀国能美郡長野田郷野田村長福寺の事例を中心として	宗学研究	46	3
熊本英人	近代仏教教団と女性(2)曹洞宗における「尼僧」	駒沢大学仏教学部論集	35	10
原田正俊	禅宗と女性	国文学解釈と鑑賞	69-6	6
木内堯大	安然の九宗判の原型について	山家学会紀要	6・7	7
北川真寛	『溪嵐拾葉集』における禅宗観について	印度學佛教學研究	53-1	12
榎本涉	中国史料に見える中世日本の度牒	禪學研究	82	1
櫻井敏雄	瑞龍寺・大乘寺・妙成寺伽藍からみた建仁寺流の特質(後)	市史かなざわ	10	3
鈴木亘	中世禅僧の詩に表現された書院窓	建築史学	43	9
富島義幸	等持寺仏像と相国寺八講堂	仏教芸術	273	3
野村俊一	中世における瑞泉寺の規模と特質について	日本建築学会計画系論文集	580	6
野村俊一	瑞泉寺[ヘン]界一覽亭をめぐる社友形成と寺板制作	日本建築学会計画系論文集	586	12
鶴見貞雄	結城市内寺院の板碑(4)一東持寺の板碑—	茨城県考古学協会誌	16	5
長尾剛次郎	興禅院本尊と寄進者藤川氏について	川口史林	69	3
平久保久雄	広徳寺と植松佐宗治考(1)	松戸史談	44	10
福嶋紀子	龍雲山広沢寺の文書と文書整理	松本市史研究	14	3

祢津宗伸	中世信濃の喫茶—開善寺文書、 守矢文書、定勝寺文書、蓋、湯 瓶および瓦質風炉による考察	長野県立歴史館研究 紀要	10	3
西巻克夫	耕雲寺開創と傑堂能勝禪師の由 縁	阿賀道	42	5
山崎直久	保科広徳寺第16世大拙楚賢和尚 と御霊屋事件顛末考	須高	58	4
三浦彩子	建長寺にみる初期禅宗伽藍と庭 園の関係についての研究	名城大学理工学部研 究報告	44	
〔その他〕				
伊藤宏見	墨跡に親しむ(16)—(19)	大乘禅	948,951 953,956	1,5, 7,10
海老澤大栄	羅漢像についての一考察	曹洞宗研究員研究紀 要	34	3
海老澤大栄	羅漢像についての一考察(Ⅲ)	教化研修	48	3
川又俊則	郊外化と寺檀関係の変容	宗教研究	77-4	3
Jef Shore	Basics of zen Practice	花園大学文学部研究 紀要	36	3
釈依昱	「生死学」教学における瞑想の 受容と展開について	印度學佛教學研究	53-1	12
Nyogen Senzaki	Reflection on Zen Buddhism	Pacific World	6	
袴谷憲昭	戦争の時代—日本文化礼賛者の 系譜	駒沢短期大学仏教論 集	10	10
武田梅芳	祈りの構造(Ⅱ)—「現世利 益」と「さとり」	教化研修	48	3
田中浩司	一六世紀後期の京都大徳寺の帳 簿資料からみた金・銀・米・銭 の流通と機能	国立歴史民俗博物館 研究報告	113	3
田中智誠	成蹊学園創始者中村春二著『悟 り方図解』(英語版十牛図)の 紹介	黄檗文華	123	5
徳野崇行	シャーマニズムと仏教寺院との 関係—宮城県松島町の事例を中 心に	駒沢大学大学院仏教 学研究会年報	37	5
中村完	身体的修行の理論と心理生理学 的機構—文献的紹介	人間科学	13	3
西川公祥	食を場とした布教のあり方の考 察	教化研修	48	3
西元和夫	花はどこに咲いているか	宗教研究	77-4	3
原瀬隆司	評話本《岳飛》の動詞接尾辞 “個”	語学教育研究論叢	21	3
東郁雄	禅とヨーガ	宗学研究	46	3

松山康國	絶対無の息づかいとは何か―拙著『風についての省察』をもとに―	比較思想研究	30 別冊	3
木宮敬信 阪田真己子	禅と身体―スポーツにおける禅的思考の有効性	表現文化研究	4-1	
ミッシェル・モール	20世紀における日本語以外の禅研究の成果と21世紀への課題―1989-2004年の動向を中心に―	近代仏教	11	5
三村成信	教化の場における仏教説話の活用に関する考察（Ⅲ）	教化研修	48	3
室屋博之	内山愚童の目指した世界とは？―週刊『平民新聞』より彼の投稿記事からの考察	駒沢大学大学院仏教 学研究会年報	37	5
横井教章	禅僧の伝説と奇談	宗学研究	46	3
柚木祖元	戦争と仏教―大内青麿と大石誠之助、そして内山愚堂―	教化研修	48	3
小池孝範	道元禅師思想の教育学的意義	宗学研究	46	3
Rocha, Cristina	Zazen or not zazen? The predicament of Sotōshū's Kaikyōshi in Brazil	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS STUDIES	31-1	
新保哲	道元の菩薩道と福祉の接点	宗教研究	77-4	3
Riggs, Diane E.	Fukudenkai: Sewing the Buddha's Robe in Contemporary Japanese Buddhist Practice.	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS STUDIES	31-2	
Rowe, Mark	Where the Action Is: Sites of Contemporary Sōtō Buddhism.	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS STUDIES	31-2	
横井教章	洞門説話と龍神信仰	宗学研究紀要	17	3
平子泰弘	臨終時の念と功德―『正法眼蔵』の記述を手がかりにして	宗学研究	46	3
井上正憲	葬祭教化の研究	教化研修	48	3
菊池淨雄	どうして葬祭儀礼が信心教化として定着しないのか―これからの葬儀の在り方―	教化研修	48	3
木村文輝	現代における葬祭の意義と問題点	教化研修	48	3
熊本英人	「葬祭の意義」の意義	教化研修	48	3
栗谷良道	宗学からみた曹洞宗葬祭法の問題点	教化研修	48	3
佐藤俊晃	坐禅と葬送（一）―「大事因説」に関する近代以降の教説を中心に―	教化研修	48	3

中野東禅	「現代人の安心」としての葬祭 教化作戦の提言	教化研修	48	3
松本皓一	「悲の同事」と逆対応	教化研修	48	3
岡島秀隆	アメリカ社会と禅仏教	禅研究所紀要	32	3
岡島秀隆	国際布教の諸問題—アメリカ諸 宗教の中の曹洞禅—	教化研修	48	3
カーシュナー・ トーマス	東西霊性交流の旅 イタリアの 修道院—サクロ・エレモ・デ イ・カマルドリ	禅文化	191	1
鶴岡賀雄	修道院で道元を読む—奥村一郎 神父の仏教とキリスト教	大法輪	71-12	12
中川正壽	ドイツの宗教事情と禅	大法輪	71-8	8
安藤治	禅と現代心理学の新潮流—「自己 実現」と「己事究明」の出会い に期待する	春秋	462	10
岡本重慶	京都で開催された日仏森田療法 シンポジウム：禅と精神分析の 対話	日本森田療法学会雑 誌 =Japanese journal of Morita therapy	15-2	10
加藤博己	禅心理学の課題と問題点	駒沢大学禅研究所年 報	16	12
教学研究委員会	施餓鬼の經典—訳注『仏説救拔 焰口餓鬼陀羅尼經』『仏説救面 然餓鬼陀羅尼神呪經』	臨済宗妙心寺派 教 学研究紀要	2	5
竹中智秦	般若心経瞥見—舍利子考—	臨済宗妙心寺派 教 学研究紀要	2	5
新保哲	俳人山頭火と禅との一考察	比較思想研究	30 別冊	3
乙幡英剛	『病牀六尺』第二十一回の構造— 子規の「悟り」に関する一考察	二松學舎大学人文論 叢	72	3
加藤正俊	漱石の書簡(その1—4)漱石の 愛した二人の雲水への便り	禅文化	191~194	1,4, 7,10
呉保華	志賀直哉と禅語	岡大國文論稿	32	3
島善高	中江兆民と禅	日本歴史	670	3
納富常天	大倉邦彦の禅受容	大倉山論集	50	3
大桑斉	近世初期における思想と説話	国文学 解釈と教材 の研究	49-5	4
久保田淳	名篇の新しい評釈 徒然草評釈 (302)文字の法師、暗証の禪師	国文学 解釈と教材 の研究	49-12	11
小出敬一	宗祇の文芸とその思想	東洋大学大学院紀要 (文学研究科)	40	3
小林善帆	生成期における「たて花」—十 五世紀中期の「花」と連歌の一 様相	日本研究	29	12
高橋博巳	「読玄瀾子詩」補注	黄檗文華	123	5

徳田和夫	いつの世とても狐の話—近世における中世	国文学 解釈と教材の研究	49-5	4
西田耕三	説話の創作性	国文学 解釈と教材の研究	49-5	4
花田富二夫	前期文芸と仏教説話	国文学 解釈と教材の研究	49-5	4
浅見龍介	頂相彫刻の特質	國華	110-3	10
浅見龍介	蘭溪道隆(大覺禪師)坐像	國華	110-3	10
浅見龍介	大休正念(佛源禪師)像 面部	國華	110-3	10
奥健夫	中巖圓月(佛種慧濟禪師)坐像	國華	110-3	10
岩佐光晴	高峰頭日(佛國國師)坐像	國華	110-3	10
根立研介	無關普門(大明國師)坐像	國華	110-3	10
根立研介	一山一寧(一山國師)坐像	國華	110-3	10
西口順子	中世後期における女性の出家	国文学解釈と鑑賞	69-6	6
西口順子	女性と仏教・軌跡と動向	国文学解釈と鑑賞	69-6	6
Albert Stunkard	Suzuki Daisetz: An Appreciation	THE EASTERN BUDDHIST	36	
桐田清秀	学習院時代の鈴木貞太郎大拙	禪學研究	82	1
桐田清秀	松ヶ岡文庫と鈴木大拙研究	松ヶ岡文庫研究年報	18	3
竹村祖珉	大拙と寸心の交流(七) — (十一)	大乘禪	950,951 954,956 957	4,5,8, 9,10,11
吉村侑久代	英文雑誌The Cultural Eastからの東洋文化総体の基盤をなす精神世界Editorialの翻訳を試みて	松ヶ岡文庫研究年報	18	3
ウィッテルン・クリスティアン	禪とコンピューター(3)トピックマップ	禪文化	191	1
ウィッテルン・クリスティアン	禪とコンピューター(4)まとめ	禪文化	192	4
Settekorn, Marion	イヴ・クライン 青という色と禪	天理大学学報	55-2	2
Miriam LEVERING	Jack Kerouac in Berkeley: Reading The Dharma Bums as the Work of a Buddhist Writer	Pacific World	6	
山岸公基	妙興寺仏殿本尊釈迦如来及び両脇侍像調査中間報告	愛知県史研究	8	3
芦田史郎	永谷山円通寺	丹波史	24	6
吉田伊佐夫	文智女王 円照寺開山	月刊ならら	69	6

〔講演〕

稲垣正浩	学術講演 わたしの身体がわたしの身体ではなくなる時—「禅」の思想と身体概念	日本体育大学体育研究所雑誌	29-2	3
井上禅定	宗演老師のことども—高浜「釈宗演展」講演より	禅文化	194	10
大谷哲夫	講演会 永平の風—道元の生涯とその仏法—	禅研究所紀要	32	3
大谷哲夫	講演 道元禅師 その果てしなき求道の旅路の一端	印度哲学仏教学	19	10
木村清孝	公開講演会 禅から華嚴へ、華嚴から禅へ	駒沢大学大学院仏教学研究会年報	37	5
小坂機融	退任記念講演 宗門の戒法考—道元禅師の説示の省察を通じて	駒沢大学仏教学部論集	35	10
Swanson Paul L	公開講演 ガルマと「壁観」と梵漢合成語	駒沢大学仏教学部論集	35	10
竹村祖珉	萬年山青松寺仏教文化講座 『正法眼蔵』に学ぶ—「現成公案」の巻	大乘禅	949	2・3
田中良昭	敦煌五十年を顧みて—敦煌文献との出会いと私の研究—	宗教学論集	23	3
橋 柃	国際化時代における海外での禅の普及—大本山永平寺での公演—(上)	禅味	473	11
橋 柃	国際化時代における海外での禅の普及—大本山永平寺での公演—(下)	禅味	474	12
船岡誠	公開講演 沃庵の禅の世界	駒沢大学仏教学部論集	35	10
峰岸孝哉	退任記念講演 宗学論雑感	駒沢大学仏教学部論集	35	10

〔書評〕

秋富克哉	井上克人著『露現と覆蔵—現象学から宗教哲学へ』	宗教研究	78-1	6
石井公成	柳田聖山著『臨濟録』	禅文化	193	7
呉英元	寺山且中著: Thomas F. Judge [訳]『禅の書と画』(Zen brushwork: Focusing the mind with calligraphy and painting)	二松學舎大学人文論叢	73	10
Kopf, Gereon	Review of: Abe, Masao. Zen and the Modern World: A Sequel to Zen and Western Thought. Edited by Steven Heine	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS STUDIES	31-1	
Kumamoto Einin	Shut Up, Zen Priest: A Review of Minami Jikisai's The Zen Priest Speaks and Other Works.	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS STUDIES	31-2	

斎藤 夏来	書評と紹介 松尾剛次著『日本中世の禅と律』	日本歴史	675	8
Sakabe Megumi	Review of: Nishida Kitarō, L'Éveil à soi. Traduction, introduction et notes de Jacynthe Tremblay	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS STUDIES	31-1	
Steven Heine	Beyond Personal Identity: Dōgen, Nishida, and a Phenomenology of No-Self, by Gereon Kopf	PHILOSOPHY EAST & WEST	54-4	
徳田 泰伸	荒井荒雄『夜船閑話-白隠禅による健康法-』	兵庫大学論集	9	3
田中 大喜	小此木輝之著『中世寺院と関東武士』	日本史研究	505	9
谷口 静浩	河波昌著『形相と空』	宗教研究	78-1	6
橋本 雄	伊藤幸司著『中世日本の外交と禅宗』	歴史評論	656	12
Habito, Ruben L. F.	Review of: Victor Sōgen Hori, Zen Sand: The Book of Capping Phrases for Kōan Practice	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS STUDIES	31-1	
藤井 教公	松尾剛次著『日本中世の禅と律』	印度哲学仏教学	19	10
Hori, Victor Sōgen	Review of: Steven Heine, Opening a Mountain: Kōans of the Zen Masters	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS STUDIES	31-1	
Metraux, Daniel A.	Review of: Brian (Daizen) A. Victoria, Zen War Stories	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS STUDIES	31-1	
Robert E. Carter	Philosophers of Nothingness: An Essay on the Kyoto School, by James W. Heisig	PHILOSOPHY EAST & WEST	54-2	

[澤野純一編]